

令和7年度第5回 かつらぎ町地域公共交通活性化協議会

会 議 録

日時:令和8年1月14日(水)16:00~17:47

場所:大谷公民館2階大ホール

出席者:出席 17 名(うち2名は会長委任)

- 会議次第: 1. 開会
2. あいさつ
3. 報告事項
4. 議事
5. 閉会

報告事項について:

(1)町実施のデマンド乗合交通「かつらいど」実証運行について

【質問事項】

○利用状況について、1人1回なのか、頻繁に利用しているのか、わかる範囲で教えてほしい。
→答:延べ利用者が 2,000 人を超え、最初の月は 600 人でそれ以降増えている。そのうち実際利用している人が 100 人なので、1 回だけという方もいると思うが、繰り返し利用している方がいると考えている。

○何回乗っているというデータもあればありがたい。

→答:提供していきたい。

○説明会について感触など詳しく聞きたい。

→答:カッコ書きしている自治区、町内会、老人会に行っているが、会によって感触が違う。自治区は、すでに予定されている役員会の冒頭 30 分ほど時間をもらって説明させてもらっている。参加者はまだ現役の方が多い会議。そこでは、町内会の寄合でもお声がけいただいたら、説明に行かせてもらいますと説明していて、広めていただく。町内会になると、少し利用者に近い方も含まれるが、まだ現役の方が多く、どちらかという周知にご協力いただきたいという内容。サロン事業になると、高齢者が中心に集まる会なので、スマートフォンを持っている方

がいれば、実際に一緒に登録しませんかというところまでできる会。民生委員には9月調査で周知にご協力いただいた。社会福祉協議会も福祉の分野のところで、説明させていただいて、案内してもらうという取組もしている。会によって温度差はある。先日マルチタスク車という大きめのハイエースで、座席のレイアウトを変えられる仕様になっている車を購入しました。出張窓口のような形で、敷地内駐車場に車を置かせていただき、来院者に声掛けをした。

○これから実績の分析をすると思うが、年齢やうまく利用している方なども分析してほしい。使い方がわからない人もいると思う。

→答：説明は継続していく予定。分析もしていきたいと思うので、周知等ご協力いただけたらと思う。

(2)地域公共交通確保維持改善事業(地域公共交通調査事業)に関する事業評価の提出について 意見なし

議事について：

議題1：かつらぎ町地域公共交通計画素案について

【質問事項・意見】

該当ページ	質問事項・意見	回答
5	デマンド乗合交通の短所に「需要を奪う」、一般乗用タクシーの短所に「運賃が高い」と記載があるが、表現が露骨すぎないか。	少し柔らかい表現を検討する。
5	一般乗用タクシーの役割で「乗合交通で対応できない移動需要」と記載がある。乗合交通はドアツードアの移動を想定していると思うが、それに対応できない需要とは。	「かつらいど」の運行方法の説明が少し不足していた。「かつらいど」は自宅と目的地を運行している。目的地間、病院からスーパーの移動は対象外としているので、この場合は一般のタクシーを使っていたきたい。
34	評価指標⑩の免許返納者数は増えることで公共交通の利用者が増えることを期待しているのか。どういった効果を期待して設定しているのか。	運転に不安があるが、免許証がなくなると生活ができないから返せないという方がいるのが現状。返せる環境を作ることが公共交通の利用につながると考えている。

—	本格運行ありきではなく、事業者からの聞き取りをしっかりと実施してほしい。国の標準処理期間があるので、早めに相談してほしい。	本格運行については、概ね方向性は今の形だと考えているが、運行事業者とも相談し、時間帯を調整するとか詳細をつめていきたい。今回の協議会前にヒアリングを実施した。コミュニティバス運行事業者には、途中経過だが、コミュニティバスの需要、利用時間と重なっていなかったということの説明している。パイを取り合うのではなく、公共交通の利用者を増やしていきたいと考えている。実際、コミュニティバスと乗合交通を乗り継ぎする資料を作成し、利用者に案内することもやっている。タクシーだけ、バスだけ、JR だけではなく、総合的に周知していきたいと考えている。
—	標準処理期間は1か月で間に合うか。	変更のため1か月。(運輸支局より)
3	「めざすべき本町の公共交通の姿」の1に交通手段だけでなく、「心身の健康が維持され、コミュニティが活性化している」が入っているのが非常にうれしい。3番目でも、課題となっている買物・病院に行く手段がないという点、5番目にも利用者視点という部分も、利用者視点でわかりやすい情報提供できるよう取り組んでいくという点が記載されているのが良い。	—
14	基本方針2に目標 2-2 が記載されているが、P19 に記載がない。	記載漏れのため、併記する。
31	評価指標⑩免許返納者数があるが、返納しなくてもいいぐらい元気で生活できるのが一番良いのではないか。P32 評価指標③行動変容との兼ね合いも考えないといけない。	元気で生活できている方を数字としてはかたたらいいが、難しい。データをとれる部分で記載している。行動変容の指標は、分けて評価することも検討する。返納できる環境を整えることが大切。
28	意見を聞いていると、バスの乗り方がわからない、乗ったことがないので不安という意見がある。町内で乗り方教室を実施したことがないので、ぜひやっていきたい。	JR であれば、和歌山線活性化検討委員会で乗り方教室を小学校で実施している。開催していただければ、ぜひ一緒に取り組んでいきたい。

11	買い物について、具体的な調査結果が出ている。病院やその他のお出かけについて、既に調査がされているのか、今後する予定なのか。目的地への正しい移動手段が整備されているかの現状分析は必要だと考える。	アンケートとしては実施しているが、問題点に係るデータとして買い物のデータを挙げている。
14	当然のことなので記載がなくてもいいと思うが、行政の方が率先して公共交通を利用していくことが非常に大事だと思う。予算の制約等もあると思うが、積極的に利用していただくことを重ねてお願いしたい。ある種の宣言的に項目として入れていただければ、検討していただければ。	県外出張は公共交通の利用をすすめているし、県内の場合も、積極的に利用している。予算の関係もあり、すべてというわけにはいかないが、できるだけ利用していきたいと思う。
21	利用しやすい運賃体系について、一事業者として運賃補助は難しいが、町財政でやってもらえるのであれば大変ありがたい。告知等相談させていただければ。	—
22	交通結節点について、直近では11/4新宮駅にスーパー小売店が入った実績もある。例えば、民間事業で通学や通勤のお客様が使いやすいような施設を整備して、時間を潰してもらうのも非常に大事だと思うので、待合環境でいうとそういった活用の仕方もあるのではないかな。	—
26	会合時間・場所の設定は地味だが、非常に大事な取組だと思う。重ねてお願いしたいのが、花火大会などの人が集まる大きいイベントでは、積極的にアクセス手段を記載するなど、地道にやっていくことが大事だと思う。	大規模な駐車場を用意していたが、2年ほど前からは縮小している。これによって、JR利用者が増え、臨時便を増便していただいたので、今後も積極的にPRしていきたい。
27	和歌山線沿線はコンパクトな自治体が多く、市町をまたぐ移動が多いと思う。横連携して、共同でPRされたいと思うし、和歌山線活性化検討委員会も積極的に活用してもらえれば。	広域的な利用は非常に大切だと思っている。紀美野町や紀の川市とは連携している。

34	評価指標⑬の 1 人あたりの費用負担の観点は非常に大事だが、割られる数の費用負担を減らすのではなく、利用者を増やして1人あたりの費用を下げていく取組を協議会全体で進められると良い。	公共交通の利用者が増えることが大切。説明会も積極的に増やす、いろんなところで説明をするとか、小学生・中学生に知ってもらう活動を今後も続けていきたい。
11 24	送迎負担が残っているという問題点②に対する対策は、デマンド乗合交通の改善になると思う。これが事業5-1になると思うが、今ある課題を本格運行で改善するというつながりが気になったので、補足いただければ。	実証の途中なので、本格運行に移行するとき、その後も継続的に見ていかないといけない。課題や解決策も皆さまや交通事業者さまから意見をいただきながら解決していければと思っている。実証結果を踏まえて、利便性を向上させて本格運行につなげたい。
12 25	問題点③連携不足に対する施策が事業6-1でこれから議論を進めると思うが、具体的にスクールバスとコミュニティバスの時間調整をするのか、部活動の地域移行を進めるのか、そういうところがもう少し見るといいかなと思う。	教育委員会と話をすると部活動の移行はまだ動いている途中なので、動向を見ながら協議したい。学校関係だと、対象者が毎年変わっていく。時間をかけて協議をすすめたい。
11	送迎の問題、就学問題などの研究をしているというところもあるが、非常に大事なことだと思っている。	—
22	事業3-2について、駅にスーパーが入ったという話があったが、乗り換え拠点において時間を費やすことができる環境整備は非常に大切。風よけがあるだけでも全然違う。ポテンシャルは各駅あると思う。	莫大な費用がかかるので、JR等のご協力をいただくことになる。すでに妙寺駅・笠田駅の協議は進めているが、時間を要する。今後道路に関する利用環境、環境整備も進めていきたいとは思っている。
28	事業8-4で口コミで広げていくとあるが、もう一歩進められると良い。感想になってしまうが、公共交通を使って行くことを目的にした、利用者が集まるような場が設定できると良い。	公共交通だけでは難しいところもあるが、利用者だけでなく、サロンの主催者側にも説明に行って、乗合交通を周知している。
34	評価指標⑬は投入額を減らすことで数字を改善するのではなく、利用者数や収入を増やすことで改善する方向で考えるのが大事。	田舎ではあまりない試みだが、選択肢を増やすことで利用促進につながると考えている。今後、皆さまと協力・協議させていただければ。
27	広域連携はぜひ地域全体で取り組んでほしい。	近隣と協議したい。

30	4月以降本格運行に移行して、国の補助を活用するにあたり、お願いがある。具体的にどの運行に対して補助を活用するか記載が必要。	本格運行の形が決まっていないので、一旦記載からはずしている。決まった段階で落とし込む。
—	『地域公共交通計画等の作成と運用の手引き』に構成例が示されている。3.現状と 4.課題、6.目標と 7.施策・事業が計画素案では同じ章で記載されていて、わかりにくくなっているため、構成例のように分けた方が見やすいのでは。	わかりにくい部分は改善したい。
—	パブコメでは本格運行を記載していない形のものか。	今配布している状態のもの。

以上、令和7年度第5回かつらぎ町地域公共交通活性化協議会の内容を記載し、その内容に相違ないことを証するためここに署名する。

令和8年 月 日

議事録署名委員

議事録署名委員